SETAGAYA VOLUNTEER NETWORK
世田谷発！ ボランティア生活発見マガジン
http://www.otagaisama.or.jp/
2018.2 No.166

セタガヤ ボランティア ネットワーク

今月のトピック

特　集●

サポーターではなく、パートナーに ～「若年性認知症」を知ろう～

まちの市民力！● 二子おもちゃ図書館ぽっぽ

キラリ世田谷人 ● 野村　博之 さん

イラストレーション●いとう良一
世田谷区出身のイラストレーター。
透明水彩や色鉛筆などの手描きで描いております。
イラスト団体「イラステイナーズ」代表。
http://www.1b-town.com/

●わたしの世田谷
祖父の時代から下北沢で生まれ育ち、現在も住み続けています。日常的な絵を描くのも好きなので、もっと地元や世田谷の絵も描いていきたいと思っております。

●特集

サポーターではなく、パートナーに
～「若年性認知症」を知ろう～

65才未満の人が発症する認知症を「若年性認知症」とよびます。働き盛りの人にとって認知症と宣告されることは、本人にも家族にとっても大変なショックです。

一方で、「『若年性認知症』とはどういうものなのか」を理解し、「いたずらに恐れることはない」ということも知っておかなければならないでしょう。

昨年12月に「世田谷ボランティア協会をささえる会」の呼びかけで開かれた勉強会「若年性認知症を考えよう」での学びをお伝えします。

「認知症」を正しく知ろう

そもそも「認知症」って何なのでしょう。12月2日に行われた学習会の講師、世田谷ボランティア協会 福祉事業部長の和田敏子（わだとしこ）さんは「物忘れをする、というのは認知症ではありません。脳細胞が原因不明で病気になり、さまざまな障害が起こる状態を『認知症』といいます。病名ではなく、〃症候群〃で、『風邪』と同じく総称です。原因を突き止められればノーベル賞ものというくらい、わからないことが多いのです」と話を始めます。

認知症の主な種類には、アルツハイマー型（60％）、レビー小体型（10％）、脳卒中の後遺症である脳血管性型（20％）があります。脳卒中を起こした人すべてが認知症になるわけではありません。「認知症」と聞いて私たちがイメージするような症状はいわゆる「周辺症状」。「トイレがひとりでできない」「介護を拒否する」「帰宅したいと願う」「お金を盗られたなどの妄想」「睡眠障害」「暴力・暴言」「不安、抑うつ」「異食」「徘徊」などの症状です。「こういう症状は正しい医療やケアで大きく変化します」と和田さんは説明します。

周辺症状ではない、症状の本体は「中核症状」といい、脳の神経細胞の破壊によって起こる症状です。代表的なのは「記憶障害」で、進行状態によっても違います。過去のことはわかるけれど、直前の

ことを覚え続けるのが難しいという症状から進行します。今日が何日か、自分が何歳か、時間や季節、場所などがわからなくなる「見当識障害」。物事を順序だてて考えて、計画をして実行することが難しくなる「実行機能障害」。聞いた話を理解したり、相手にわかりやすく伝えることが難しくなる「失語」。手足は動くけれど、いつも着ていた洋服の着方がわからなくなる「失行」などがあります。

軽度の認知症の場合は「あれ？いつもできていることができない？」と自分で気がついたり、「お父さん、この頃変だね」と家族が気づくこともあります。老年性うつ病と間違えられることもあるので、専門家にしっかり診てもらう必要があります。「問診(面接)」「画像検査」「テスト」によって診断され、いわゆる「物忘れ外来」を受診します。「加齢により、誰しも認知機能が低下します。よって長命になればみんな同じ、なんですよね」と和田さん。

働き盛りに起こる若年性認知症

しかし、30代～40代での「若年性認知症」は急務を抱えます。働き盛りに直面する経済的な困難、学齢期の子どもがいるなど家族の問題、利用できるリハビリ施設やケア施設等の資源不足などの問題、そして障害者への就労支援はあっても、若年性認知症には受け皿がない、など課題は多岐にわたります。

仙台の自動車会社でバリバリの営業マンだった丹野智文（たんのともふみ）さんは、39才でアルツハイマー型若年性認知症との診断を下されました。「人生の絶望」のどん底に突き落とされ、泣き続けたそうですが、「認知症になっても人生終わりじゃない」と、著書『丹野智文　笑顔で生きる』の中で希望を語るまでになりました。家族の支えがあり、「家族の会」で支え合い、理解ある同僚に見守られて仕事を続け、講演で全国を飛び回る日々が綴られています。

丹野さんは著書で「今では認知症になってよかったと思える時があります。講演をするようになり、全国の仲間と知り合うことができました。人が人を呼び、これこそが若年性認知症になったおかげでいただいた財産だと思います」と記し、多くの認知症の人たちを励ますにいたるのです。「当事者」である丹野さんは、「自分で決める」生き方を他の人たちにも伝えています。

当事者が決める

「かつては良いサービス、良いケアが当事者を支えましたが、今や時代はどんな障害でも、あくまでも『当事者』が主体です」と和田さん。つまり『私たち当事者抜きで決めないで下さい』ということなのです。学習会のなかで和田さんは、事例として認知症の方とつくる『注文をまちがえる料理店』の試みを紹介しました。

昨年9月16日から3日間、期間限定で六本木にオープンし、マスコミでも話題となりました。認知症の方々がスタッフとなって接客をし、ハンバーグを注文したのにオムライスが出てくる、ホットコーヒーにストローがついてくるというような、「間違えだらけ」のレストランは「まあ、いいか」と笑い、楽しむ客で大繁盛しました。

テレビ局ディレクターとグループホームで働く介護福祉士の方が話し合って考えた、認知症の人とそうでない人とが気持ちよく交流できる「社会実験の場所」としてのアイデアだそうです。企画の運営費をクラウドファウンディングで集め、大きな反響を呼びました。「てへッ…」と笑い、ぺろッと舌を出す、いわゆる「てへぺろマーク」をシンボルとしたこのような活動が各地で広まれば、認知症の理解が広まり、「間違えたっていい」という許容性が社会の中で受け入れられる原動力となることでしょう。

注文をまちがえる料理店
THE RESTAURANT OF ORDER MISTAKES

てへッと笑うロゴマーク

世田谷での取り組み

「若年性認知症」当事者のための社会参加プログラムは世田谷ではどのように行われているのでしょう。90万人が暮らす世田谷での「若年性認知症」推計人数は500人とされていますが、実際に明らかになっているのは2ケタです。まずは「実態を知ること」、共に活躍できる場を「創ること」、そして「若年性認知症について理解しあう機会に、心も体も動かすこと」が求められています。

「カミングアウトには勇気がいりますが、手をあげれば選択肢が増えます。そっと誰かに相談したい人がいるならば、ネットでつながる窓口も必要になります。『今ここに、あなたにしかできない役割と語り合える友人がいる』と伝え、『若年性認知症になっても大丈夫』と知ってもらうことが大切です。恐ろしいのは若年性認知症と診断されることではなく、それまで担ってきた役割を失い、社会とのつながりが断ち切られる辛さです」と和田さんは話します。

世田谷では2016年から「若年性認知症のための社会参加プロ

グラム」が取り組まれています。初年度はデイ・ホーム弦巻にある「認知症対応型通所介護 若年性認知症コース『ともに』」の方がたの活動でした。ここでは週2回、水曜と土曜に実施されています。当日の予定を当事者が話し合って決め、外出、外食などの活動型プログラムが中心となっています。

世田谷ボランティア協会の福祉事業の拠点の「ケア相談センター結(ゆい)」では、「若年性認知症当事者のための社会参加型プログラム」を委託事業として受けています。

また、区内には「認知症カフェ」が36か所（2017年11月現在）あり、家族会の中には「若年性認知症」に特化したものもあります。昨年6月、上町あんしんすこやかセンターの「認知症サポーター養成講座」では、せたがや福祉区民学会の学生交流会「せたがやLink(リンク)!」の学生たちが情報発信に協力したり、講座に参加して、認知症の理解を深めました。

地域でチャンスをつくろう

若年性認知症の方は機会さえあれば、その人の力を生かしていろいろなことができます。若年性認知症に理解のある八百屋さんで裏方の仕事の手伝いをしたり、パソコンの能力を発揮したり、地域のイベントで楽器を演奏したり。地域にあるさまざまな機会を利用し、自分のできることを担うことで、イキイキとした生活を送ることができ、症状の進行を遅らせることにもつながります。若年性認知症の方が地域に参加することで、「認知症になることは怖くない」という認識を広めていくことがますます求められるでしょう。

お店の作業をお手伝い

必要なのは「サポーターというよりパートナー」と和田さん。これは当事者の日本認知症本人ワーキンググループ代表の藤田さんが訴えていることです。サポーターと当事者の間には上下関係が生まれる場合もありますが、パートナーと当事者の関係は平等でフラットです。

団塊の世代が75歳を超え、超高齢社会に突入する「2025年問題」を抱える日本にとっては大きな課題である認知症。どうやって共に暮らしていくか、最期まで自分らしく生きていくか、一人ひとりが我が事として考えることが必要です。学習会の和田さんのお話の締め、「明日から世田谷で、認知症のサポーターではなく、『パートナー』になってください」という言葉が印象的でした。

（取材／編集委員　星野弥生）

前列左が渡辺さん

二子おもちゃ図書館ぽっぽ

まちの市民力!!

取材・事務局

●

街の中で地域やそこで暮らす人たちと一緒に活動している団体を紹介します

障害のある子もない子もいっしょに遊び、育ちあう場が「二子おもちゃ図書館ぽっぽ（以下ぽっぽ）」。玉川ボランティアビューローで月2回、火曜日の10時半～15時に活動しています。活動開始から30周年を迎えたと聞き、ボランティアの渡辺由美子（わたなべゆみこ）さんにお話をうかがいました。

「おもちゃ図書館」は、「障害のある子どもたちにおもちゃの素晴らしさと遊びの楽しさを」との願いから始まったボランティア活動です。ぽっぽの始まりはボランティアビューローで開催されたおもちゃ図書館についての講演会。子どもが好きな渡辺さんはたまたま講演会に参加して、グループの立ち上げからかかわりました。

取材のこの日も、じゅうたんの上で好きなおもちゃを手に、5～6組の親子でにぎわっていました。午前はおもに0才から2、3才の子が、午後は幼稚園帰りの子どもたちがよく遊びに来ていて、ボランティア6～7人が子どもたちの遊びを見守ります。お母さんに話を聞くと「ここならおもちゃもたくさんあるし、いろんな人にも会えて、遊んでもらえるし、安心して過ごせます」と話します。子育てのちょっとした悩みを話せたり、お母さん同士の交流の場にもなっているようです。

「特に宣伝もせずに口コミで、細々と続けてきたらいつの間にかね」と、30年前のクリスマス会の写真を眺めながら地道な活動の積み重ねを振り返ります。一時はボランティアが減って「もうやめようかなと思ったこともあります」と渡辺さん。それでも「遊びに来てくれる子がいるから」と活動を続け、昨年12月のクリスマス会は大勢の親子でにぎわいました。

「遊びに来ていた子が数年後ボランティアで来たり、ボランティア体験した高校生がのちに親になって子どもを連れて遊びに来てくれたり、長く続けているからこそのつながりもあります」

おもちゃの修理は「グループぐるんぱ」のおもちゃドクターに協力してもらい、歴代のおもちゃが大切に使われ、今も子どもたちの人気の遊び道具となっています。いつの時代もここには親子の笑顔がつどい、地域で子どもを見守るあたたかいまなざしがあります。

■二子おもちゃ図書館ぽっぽ
第1・3火曜日 10:30～15:00（12:15～13:00はお昼休み）
玉川ボランティアビューローにて（※2月20日はお休み）

福祉の魅力を伝えたい

野村 博之さん
のむら ひろゆき

せたがや キラリ人が

世田谷を中心に活躍する
キラリと光る素敵な方がたを
ご紹介します
取材●事務局

のどかな野川のほとりからほど近い場所にある特別養護老人ホーム「喜多見ホーム」。施設長の野村博之さんにお話をうかがいました。

野村さんとボランティアセンターとの出会いは4年前。「福祉の人材を増やしていくために、ボランティアの受け入れを増やしたい」と相談に来られたのがご縁でした。その後、ボランティア協会の夏のボランティア体験プログラムで受け入れ団体として協力くださったり、福祉現場を知ってもらうために何ができるか、いっしょに企画を考えたりしてきました。野村さんは区内の高校にも足を運び、進路先として福祉業界のことをPRしたり、生徒の実習を受け入れたり、積極的に関係をつくってきました。

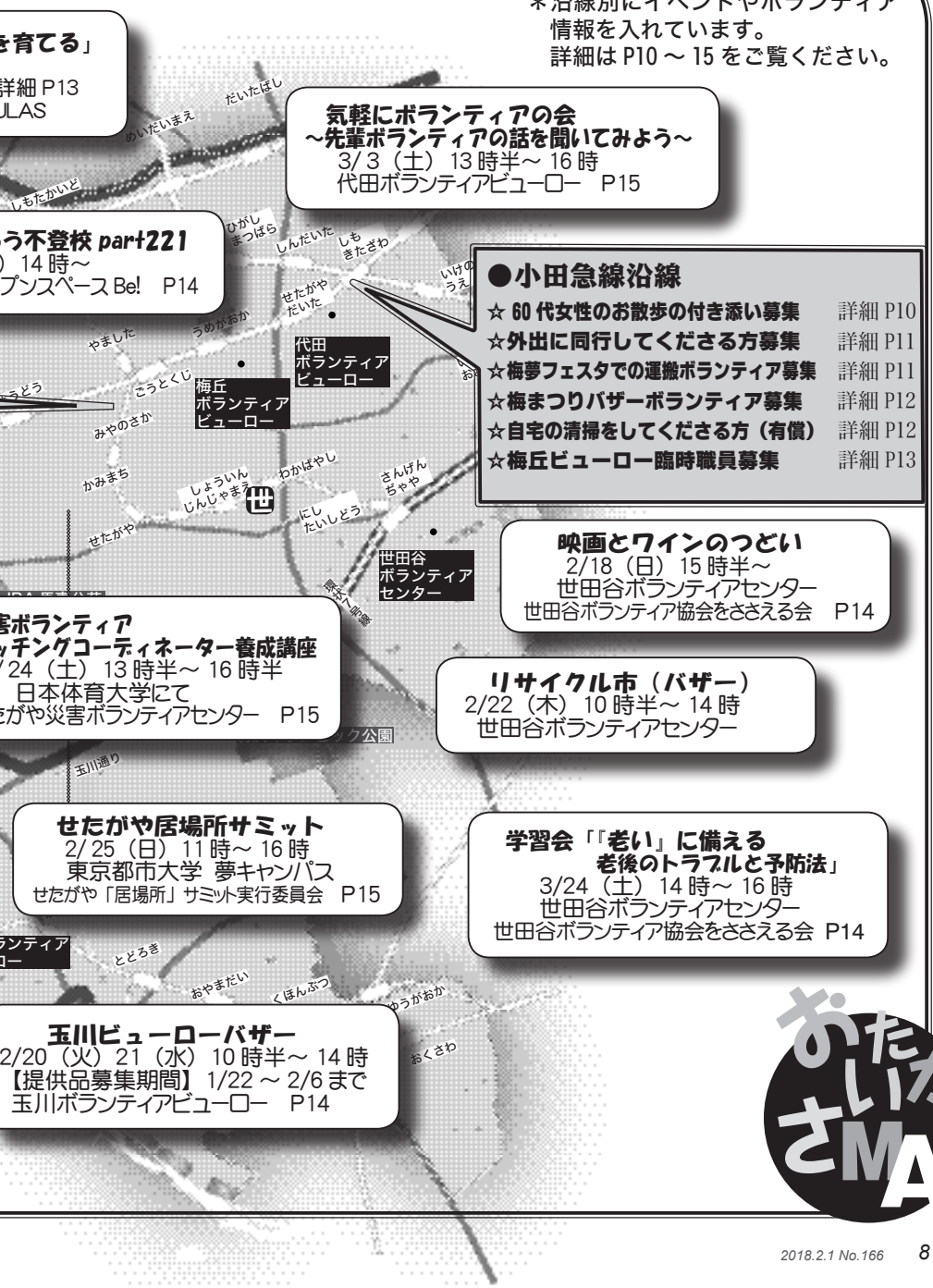
世間では「介護＝大変な仕事」というイメージがありますが、野村さんは「福祉と介護は人を助け、サポートする仕事であり、また特養においては人生最期のステージを看取る大事な仕事である」という信念を若い人たちに伝えています。実際に介護の現場を体験した学生たちも「やってみてイメージが変わった」「福祉の仕事に興味を持った」といいます。

行動派の野村さん、「人とのかかわりのなかで新しい発見があるでしょ。前に進むことが好きなんだよね」と話します。特別養護老人ホームの施設長会の有志の取り組みとして、昨年「せたがや介護普及有志の会」を立ち上げ、有志の職員とともに、4校の小中学校での車いす体験の授業協力をしてきました。「こういう連携をモデルとして、他の地域にも広がっていけばと願っています」

大切にしていることを尋ねると「人を大事にすることだよね」と野村さん。ボランティアの名札は職員の手づくりであたたかみがあり、心くばりが伝わってきました。「ウェルカムな気持ちで迎えているし、楽しい雰囲気を大切にしています」

ある調査で、施設職員が福祉の仕事に関心をもったきっかけのひとつは中学校で行われている職場体験やボランティア体験だということがわかりました。一方、福祉の現場では体験受け入れのマニュアルが必要とされていて、「これから関係機関とともにマニュアルをつくっていきます」と野村さんは新たな取り組みに向かっています。

＊沿線別にイベントやボランティア情報を入れています。
詳細は P10 ～ 15 をご覧ください。



気軽にボランティアの会
～先輩ボランティアの話を聞いてみよう～
3/3（土）13 時半～ 16 時
代田ボランティアビューロー　P15

●小田急線沿線

☆ 60 代女性のお散歩の付き添い募集	詳細 P10
☆外出に同行してくださる方募集	詳細 P11
☆梅夢フェスタでの運搬ボランティア募集	詳細 P11
☆梅まつりバザーボランティア募集	詳細 P12
☆自宅の清掃をしてくださる方（有償）	詳細 P12
☆梅丘ビューロー臨時職員募集	詳細 P13

映画とワインのつどい
2/18（日）15 時半～
世田谷ボランティアセンター
世田谷ボランティア協会をささえる会　P14

リサイクル市（バザー）
2/22（木）10 時半～ 14 時
世田谷ボランティアセンター

学習会「『老い』に備える
老後のトラブルと予防法」
3/24（土）14 時～ 16 時
世田谷ボランティアセンター
世田谷ボランティア協会をささえる会 P14

せたがや居場所サミット
2/25（日）11 時～ 16 時
東京都市大学　夢キャンパス
せたがや「居場所」サミット実行委員会　P15

玉川ビューローバザー
2/20（火）21（水）10 時半～ 14 時
【提供品募集期間】1/22 ～ 2/6 まで
玉川ボランティアビューロー　P14

害ボランティア
ッチングコーディネーター養成講座
/24（土）13 時半～ 16 時半
日本体育大学にて
たがや災害ボランティアセンター　P15

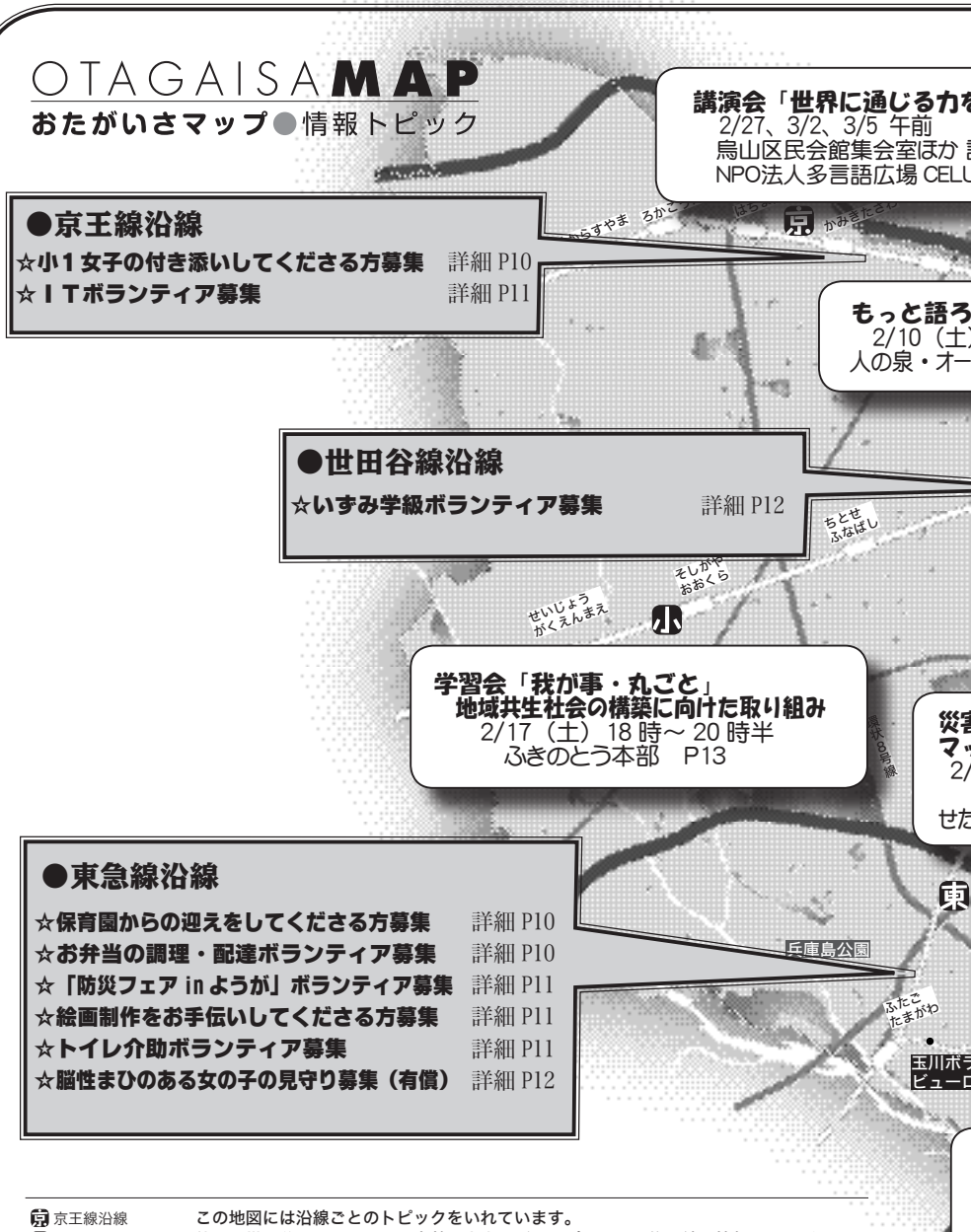
う不登校 part221
）14 時～
プンスペース Be!　P14

き育てる」
詳細 P13
ULAS

おたがさいMAP

OTAGAISA**MAP**

おたがいさマップ●情報トピック



京 京王線沿線
小 小田急線沿線
世 世田谷線沿線
東 東急線沿線

この地図には沿線ごとのトピックをいれています。
他にも世田谷にはたくさんの素敵な出会いがいっぱいです。後に続く情報をマップにおとしたり、今月のあなたの『おたがいさま』を書き入れてみてはいかがでしょうか。
★や◎で入れるのもよし、活動の記録・行動（アクション）の目安に是非ご活用ください。

京 京王線沿線
小 小田急線沿線
世 世田谷線沿線
東 東急線沿線

ボランティア求む

東 玉川地域で保育園からの迎えをしてくださる方募集

世田谷区玉川に住んでいる3歳の女の子を保育園から家まで送ってくださる方を探しています。

体調が優れず、ご両親が保育園へお子さんを迎えにいくことが難しいため、火曜日の夕方、保育園から家まで送ってくださり、その後ご自宅でしばらくお子さんをみてくださる方を探しています。お子さんは、おおらかな性格の子です。詳しくはお問い合わせください。

●日時／火曜日の17時～18時30分頃まで
●場所／保育園（玉川）から玉川のご自宅まで
●条件／女性
●問合せ／世田谷ボランティアセンター　担当　鈴木
TEL　5712-5101
suzuki@otagaisama.or.jp

小 60代女性のお散歩に付き添ってくださる方募集

祖師谷にお住いの60代の女性のお散歩に付き添ってくださる方を求めています。祖師谷で長年過ごされてきた方で、近所をお散歩すると気持ちも明るくなるようですが、施設に入居しているため外出の機会が少ないことをご家族は心配されています。

穏やかで明るい性格の方で、歩行に不安はありませんが、認知症で道順がわからなくなることがあるため、決まったルートのお散歩を見守ってほしいというご希望です。年代を問わず、明るい女性を希望しています。詳しくはお問い合わせください

●日時／週1回、1時間程度。曜日・時間帯は応相談
●場所／祖師ヶ谷大蔵駅周辺
●募集人数／1～2名
●条件／交通費応相談。女性希望
●問合せ／世田谷ボランティアセンター　担当　青木
TEL　5712-5101
aoki@otagaisama.or.jp

東 小 お弁当の調理・配達ボランティア大募集

食事作りが負担になったご高齢世帯に、地域の主婦たちによる手作り弁当をお届けしています。

ほっとする家庭の味のお弁当と、配達時のちょっとした会話とともに利用者の見守りも兼ねたこの活動は30年以上続いています。現在、調理と配達ボランティアを大募集中です！　ぜひ一度見学にいらしてみませんか？

●日時／①調理：平日8時～13時半頃　②配達：平日10時半～13時半頃、または15時～17時頃
●場所／食事サービスサポートセンターだんらん（世田谷区鎌田3-13-1）
●交通／バス 成城学園前駅～二子玉川行「砧南中学校前」下車1分
●募集人数／数名
●条件／①調理：初心者でも大丈夫です。②配達：自動車普通免許、人と接するのがお好きな方
●問合せ／老人給食協力会ふきのとう　担当　佐野
TEL　3706-2545
sano@mow.jp
http://fukinotoh.mow.jp/

京 小学1年生女の子の付き添いをしてくださる方

脊椎の障害のため、学校での生活に支援が必要な子が、塚戸小学校に通っています。週3日は学校の支援員が付き添いますが、残り2日の授業中の見守りや教室移動の付添いなどが必要です。

明るく人懐っこい性格でよく話をし、なんでも自分でやってみよう！とする女の子です。子どもを尊重して関わってくださる方を募集しています。お気軽にお問い合わせください。

●日時／火曜日・木曜日、8時20分～14時半（応相談）
●場所／塚戸小学校
●条件／女性。謝礼あり
●問合せ／梅丘ボランティアビューロー
TEL　3420-2520
umebora@otagaisama.or.jp

OTAGAISAMA VIEW

小 外出に同行してくださる方募集

2年前から全身に痛みが出る病気になられた、経堂にお住まいの20代の女性の方が外出に同行してくださる方を探しています。

日によって痛みが強い場所が変わるので、歩くことや荷物を持つことが難しくなることがあります。外出に一緒に付き添ってくださると安心感があり、買い物をして荷物がもてない時などに荷物を持ってくださると助かります。

電車のすいている時間帯に電車で移動したり、近隣を散歩したり、バスで出かけたりできたらと思っています。詳しくはお問合せください。

●日時／都合の良い時間を教えて頂き、都度ご相談できたらと思っています。
●交通／経堂駅周辺
●条件／女性。交通費は依頼者負担
●問合せ／世田谷ボランティアセンター　担当　鈴木
TEL　5712-5101
suzuki@otagaisama.or.jp

小 梅夢フェスタ 出店時片づけ時の運搬ボランティア募集

梅ヶ丘駅南口商店街【梅夢フェスタ】に梅丘ボランティアビューローから今年も出店します。ボランティアさんの作った「手づくり品」や、衣類やバック、食器なども大幅に値下げしてバザーをします。その際に、設営をしたり片付けをする「運搬ボランティア」と「販売ボランティア」を募集しています。ぜひご協力お願いします。

●日時／3月11日（日）（雨天時は18日に順延）
●内容／①梅丘ボランティアビューロー（2階）から階段で荷物の上げ下ろし、出店場所までの50メートル程の運搬をお願いします。設営時と片づけ時だけでも助かります。（9時～、15時半～の各30分程度）
②販売ボランティアも同時募集中（10時～15時半）
●問合せ／梅丘ボランティアビューロー
TEL　3420-2520

東 「防災フェアinようが」ボランティア募集

用賀三町会（上用賀、用賀、用賀南）が合同で、「防災フェア」を開催します。地域の防災力向上と用賀の街を知ってもらって、もっと好きになってもらうため、いっしょに用賀を盛り上げてみませんか。近隣にお住いの方、大歓迎！

●日時／3月17日（土）10時～14時
●場所／用賀駅前近辺
●活動内容／会場設営、模擬店販売補助、誘導、後片付け
●条件／20代～50代の方で、1日活動できる方。昼食支給あり。
●問合せ／用賀まちづくりセンター防災まちづくり担当係長　山口
TEL　3700-9120

東 50代男性の絵画制作をお手伝いしてくださる方募集

電動車いすを利用して生活している50代男性が、個展の開催を目指して絵画制作しています。額装や作品展示の方法・展示場所の提案などお手伝いして下さる方を募集しています。

●日時／平日10～14時の間、短時間でも歓迎します！
●場所／岡本福祉作業ホーム
●交通／東急バス『岡本三丁目』下車、徒歩5分
●問合せ／相談支援センターおかもと　担当　石黒
TEL　3415-3366
soudan-okamoto@izumikai.jp
http://izumikai.jp/

東 トイレ介助ボランティア募集

二子玉川のオフィスビルに勤務する車イスの20代男性が、昼休みのトイレ介助（パッド交換）のボランティアを探しています。複数名でサポートしていますが、火曜を担当していただける方を求めています。介助経験のない方も、まずはお問い合わせください。

●日時／火曜　12時40分～13時（頻度は応相談）
●場所／二子玉川駅徒歩2分のオフィスビル1階
●募集人数／1～2人
●条件／年齢・性別・資格不問。交通費応相談
●問合せ／玉川ボランティアビューロー
TEL　3707-3528

「セボネ」は皆様の声を集めて制作しています。ボランティア募集、イベントなど情報をお寄せください。ホームページから情報を投稿できます。
3月号掲載は2月10日（土）に締め切ります。

おたがいさまビュー

京 京王線沿線
小 小田急線沿線
世 世田谷線沿線
東 東急線沿線

世 東 京 知的障がいのある人と一緒に活動しよう いずみ学級ボランティア募集

「いずみ学級」は、知的障がいのある人たちと、彼らを支え、共に学び、遊ぶボランティアによって運営される学級です。1年を通してレクリエーションやクラブ活動、バスハイク、キャンプ、スキーなどの活動をしています。（詳しくは世田谷区ホームページより年間活動計画を参照ください）

ボランティアは、学生や社会人、主婦など、老若男女問わずさまざまな人たちが参加して活動しています。資格等は不要で、知的障がいのある人たちと関わることに興味のある方なら、誰でも参加できます。ボランティア募集は年間を通じて行っています。実際に参加している方の声もホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。ホームページから、またはお電話にてお気軽にご連絡ください。

●日時／原則として第1・第3曜日の10時～15時半（年22回）
●場所／活動拠点は世田谷中学校、八幡中学校、芦花中学校。他に外出や宿泊行事もあります
●条件／高校生以上
●問合せ／世田谷区教育委員会事務局 生涯学習・地域学校連携課 いずみ学級担当
TEL 5432-2733

小 梅まつり バザーボランティア募集

春の訪れが待ち遠しいこの季節、「梅まつり」に世田谷ボランティア協会も出店します。徐々に梅の花がほころぶ様子を見物しながら、バザーや活動のPRなどを手伝ってくださる方を募集しています。1日でも、半日でも助かります。ぜひご協力お願いします。

●日時／梅まつり期間中2月10日（土）、11日（日祝）、12日（月）、17日（土）、18日（日）、25日（日）、3月3日（土）、4日（日）9時～16時半の間でご相談
●場所／羽根木公園内
●交通／梅ヶ丘駅・東松原駅
●問合せ／世田谷ボランティア協会 担当 宮崎
TEL 5712-5101

有償スタッフ募集

東 脳性まひのある女の子の見守り募集

上野毛に住んでいる小学校6年生の女の子が、平日午前中や放課後に自宅や児童館などで見守ってくれる女性を探しています。脳性まひのため歩行や発語に障がいがありますが、バギーや車イスでの外出が大好きで、人なつこく、笑顔の可愛い女の子です。現在も、複数名で都合を合せながら見守りをしています。一緒に過ごしてくれるやさしい女性、お待ちしています！まずはお問合せください。

●日時／火曜午前中、水曜か金曜の午後、1回2～4時間。月2～4回程度。詳細はご相談。
●場所／自宅や自宅周辺の児童館、二子玉川等
●交通／上野毛駅徒歩5分
●条件／時給1000円（交通費別途支給）。大学生～60代くらいまでの女性
●問合せ／玉川ボランティアビューロー
TEL 3707-3528

小 自宅の清掃をしてくださる方 募集

代田にお住まいの目の不自由な女性が、週に2回くらい自宅の清掃をしてくださる方を探しています。詳しくはお問合せください。

●日時／火曜日午後と、第1・3金曜日の午前か午後、各1時間くらい（曜日は相談可）
●場所／自宅（代田2丁目）
●交通／世田谷代田駅徒歩3分
●募集人数／1～2名
●条件／近隣にお住まいの穏やかな女性の方。1時間1000円（緊急介護人制度に登録お願いします）
●問合せ／代田ボランティアビューロー
TEL 3419-4545
daitabora@otagaisama.or.jp

OTAGAISAMA VIEW

小 ボランティア拠点の臨時職員募集

世田谷ボランティア協会が運営する、地域のボランティア拠点で有給スタッフを募集しています。

●内容／ボランティア活動の推進にかかわる相談業務、諸事業の企画・立案・実施、一般事務、施設の管理、バザーの企画・運営ほか
●勤務地／梅丘ボランティアビューロー（梅丘1-8-9）
●交通／梅ヶ丘駅徒歩8分
●勤務日／月曜～土曜日のうち、週3日程度（ただし、月1～2回土曜日の交代勤務あり）
●勤務時間／9時55分～17時10分
●条件／20歳以上で人とかかわることが好き、地域のために何か始めてみたい方
●雇用期間／2月以降～2018年3月末日（勤務開始日応相談。年度ごとの契約、更新あり）
●待遇／時給960円（交通実費支給、雇用保険あり）
●応募方法／履歴書（写真貼付）、作文「応募の動機」（400字程度）を郵送または持参
●選考方法／1次選考：書類、2次選考：面接
●応募締切／適任者が見つかり次第締切
●問合せ／世田谷ボランティア協会
〒154-0002
世田谷区下馬2-20-14
TEL 5712-5101

講座・その他・募集

小 パソコンを一緒にたのしみましょう

年齢、性別、障がいの有無に関わらず集い、パソコンを楽しんでいます。参加の条件は、パソコンを楽しみたいという気持ちだけです。参加費用は無料です。

●日時／毎週火曜日 9時～12時
●場所／梅ヶ丘総合福祉センター3階ITルーム
●交通／現地集合。車両による送迎の相談も可能です。
●問合せ／パソコン助け合いクラブ 担当 萩原
090-8349-5774
ogi2753@gmail.com

東 学習会「『我が事・丸ごと』地域共生社会の構築にむけた取り組み」

ふきのとう学習会16回目のゲストは、後藤真一郎さん（厚生労働省 地域福祉専門官）。「我が事・丸ごと」地域共生社会の構築にむけた、ささえあいの取り組みについて、お話をうかがいます。

●内容／第1部 学習会（18時～）、第2部はゲストを交えての会食&交流タイム（19時半～）
●日時／2月17日（土）18時～（受付17時40分～）
●場所／ふきのとう本部（世田谷区上用賀6-19-21）
●参加費／500円（軽食付き）
●申込み／電話またはメールで
●ごはんを16時からつくります。キッチンチームのお手伝いを募集しています。
●問合せ／社会福祉法人ふきのとうの会 ふきのとう事務局
TEL 3706-2545
infomow@mow.jp

京小 講演会「世界に通じる力を育てる」

「子どもたちの未来社会」は、どんな人材が求められているか、一緒に考えてみませんか。子どもたちが成人になる頃には、学力や人材に対する評価基準が大きく変わっています。未来につながる人材育成のキーワードは、「コミュニケーション力」「多様性への対応力」「自分で見つける力」です。

この講演会では、多言語の習得活動を通して育っていく力についてわかりやすくお話します。

※保護者向けのお話の会ですが、学生・社会人の方の参加も大歓迎です。

●日時・場所／①2月27日（火）9時45分～11時45分 烏山区民会館3階集会室、②3月2日（金）9時45分～11時45分 北沢タウンホール2階集会室、③3月5日（月）10時半～12時半 経堂すずらん会館 地下会議室
●参加費／無料（要申込、託児あり・要予約）
●問合せ／NPO法人多言語広場CELULAS（セルラス）
TEL 5333-8202

「セボネ」は皆様の声を集めて制作しています。ボランティア募集、イベントなど情報をお寄せください。ホームページから情報を投稿できます。
3月号掲載は2月10日（土）に締め切ります。

京 京王線沿線
小 小田急線沿線
世 世田谷線沿線
東 東急線沿線

講座・その他・募集

東 映画とワインのつどい

栃木県足利市の山裾にワイナリーを持つ、知的障害者の福祉施設〈こころみ学園〉でつくられている『こころみワイン』。ワインと手料理を楽しみながら、映画と監督のお話に、目と耳を傾けましょう。

●内容／映画『からっ風が知っている～こころみ学園物語』上映、藤沢勇夫監督のお話、交流会
●日時／2月18日（日）15時半～
●場所／世田谷ボランティアセンター
●交通／三軒茶屋駅徒歩12分
●参加費／会員1000円、一般1500円（ワインかジュース1杯と手づくりの軽食付き）
●申込み／電話またはメールでお申込みください。
●問合せ／世田谷ボランティア協会をささえる会
TEL 5712-5101
sasaerukai@otagaisama.or.jp

東 第2回みんなで勉強しよう会「『老い』に備える 老後のトラブルと予防法」

子どものいないご夫婦や障害者を抱えた家族、おひとりさまの「老いじたく」など、いろいろと生きにくい社会になっています。ささえる会主催の第2回学習会では、講師に弁護士の中山二基子（ふきこ）さんを迎え、「老い」じたくを考える糸口を学ぶ会を開催したいと思います。

●日時／3月24日（土）14時～16時
●場所／世田谷ボランティアセンター
●交通／三軒茶屋駅徒歩12分
●参加費／500円
●申込み／電話またはメールでお申込みください。
●問合せ／世田谷ボランティア協会をささえる会
TEL 5712-5101
sasaerukai@otagaisama.or.jp

東 玉川ビューローバザー開催 バザー提供品とボランティアを募集中

玉川ボランティアビューローでは、恒例のバザーを開催します。収益はボランティア活動推進費として大切に使わせていただき、「おたがいさま」で結ばれた地域づくりに役立てます。皆さまのお越しをお待ちしております！ また、バザー提供品、バザーボランティアも募集中です！

●バザー開催日時／2月20日（火）21日（水）10時半～14時
●場所／玉川ボランティアビューロー（二子玉川駅徒歩5分、玉川税務署となり）
※駐車場はありません。
●提供品受付／1月22日（月）～2月6日（火）まで 10時～16時（日曜除く）
＊新品または新品同様の婦人服、子ども服、バッグ、アクセサリー、靴、和服、贈答品、食器、雑貨のご提供をお待ちしております。
＊受付できないもの（紳士服・おもちゃ・書籍など）もありますので、お問合せください。
●ボランティア募集／①値付け：2月1日（木）、7日（水）13時～15時、2月13日（火）10時15分～12時15分
②会場設営：2月15日（木）10時15分～12時15分
③バザー当日の販売・片付け等 2月20日（火）、21日（水）10時～15時
●問合せ／玉川ボランティアビューロー
TEL 3707-3528

世 小 「もっと語ろう不登校 part221」

これまで22年にわたって、さまざまな方がたの分かち合いの場となってきました。「自分だけではなかったんだ」と知るだけで心が軽くなります。初めての方もお誘い合わせの上、どうぞお気軽にご参加ください。

●日時／2月10日（土）14時～
●場所／人の泉・オープンスペースBe！（赤堤1-15-13）
●参加費／300円（カンパ歓迎）
●交通／山下駅徒歩6分
●問合せ／世田谷こどものいのちのネットワーク第3分科会「もっと語ろう不登校」担当 佐藤
TEL 5300-5581

OTAGAISAMA VIEW

東 災害ボランティア マッチングコーディネーター 養成講座

災害時に被災者と災害ボランティアのニーズをつなぎ、より良く支援活動が行われるように調整するスタッフを「災害ボランティアマッチングコーディネーター」といいます。その養成講座を開催いたします。講座受講後、「マッチングコーディネーター」への登録もお願いします（希望者のみ）。

●日時／2月24日（土）13時半～16時半
●会場／日体会館（日本体育大学のとなり）
●交通／桜新町駅・等々力駅
●内容／講義、模擬訓練
●参加費／無料（要申込）
●申込み／お電話かメール。メールの件名を「災害VMC講座申込み」として、氏名・住所・電話番号（あれば所属）を記入。
●主催／世田谷ボランティア協会
世田谷区
●問合せ／せたがや災害ボランティアセンター
TEL 5712-5101
saigai@otagaisama.or.jp

小 気軽にボランティアの会

～いつから？どう始める？地域デビュー 先輩ボランティアの話を聴いてみよう！～

今回で7回目。この会をきっかけに、たくさんの方がボランティア・地域活動への一歩を踏み出されています。今年は新しいこと、始めませんか？

●ゲストスピーカー（先輩活動者）
災害支援、イベント、障がい児のための布おもちゃ作り、障がいのある青年の余暇活動、バザーなどで活躍している方
●日時／3月3日（土）13時半～16時
●場所／代田ボランティアビューロー2階（階段をあがって靴を脱いで上がる絨毯敷きの部屋）
●交通／世田谷代田駅すぐ
●参加費／500円（茶菓代、資料代）
●問合せ／代田ボランティアビューロー
TEL 3419-4545

東 せたがや居場所サミット

世田谷区には「子ども、若者、障がい者、高齢者」の居場所づくりをしている人たちがたくさんいます。だけど、それがつながっていないのは、もったいない。というわけで、子どもと高齢者支援の居場所づくりを続けている3人が言い出しっぺで、世代やジャンルを超えて居場所づくりをしている人たちを一堂に集めるイベントを催します。「ケアする社会」は小さな「居場所」から始まります。そんなまちづくりを一緒にしていきましょう。

世田谷で居場所づくりをしている皆さん、パネル展示とリレートークに参加し、交流とつながりの機会を広げませんか？

●日時／2月25日（日）11時～16時
●場所／東京都市大学 夢キャンパス
●交通／二子玉川駅徒歩2分
●参加費／無料
●定員／200名
●内容／参加団体のパネル展示（11時～）、トークセッション「これからの居場所」（12時40分～）、パネル展示団体のリレートーク（14時～）
●問合せ／せたがや「居場所」サミット実行委員会 担当 中澤
TEL 5477-9891
mayucat2jp@ybb.ne.jp

東 音楽会 ～ピアノとフルートの演奏会～

障がい者が通所している施設での音楽会です。「華麗なるステージミュージック」をテーマに、ミュージカル音楽や映画音楽をプロのピアニストが演奏してくださいます。お時間がある方は、是非お気軽にご来場ください。

●日時／3月1日（木）11時～12時
●場所／三宿つくしんぼホーム
●交通／下北沢駅または三軒茶屋駅から徒歩20分
●問合せ／世田谷区立三宿つくしんぼホーム
TEL 3411-4711

世田谷ボランティア協会の活動●支援拠点

●「市民が主役」のボランティア活動の拠点●

■世田谷ボランティアセンター　〒154－0002 下馬2－20－14　TEL (5712)5101 FAX (3410)3811
■梅丘ボランティアビューロー　〒154－0022 梅丘1－8－9　TEL (3420)2520 FAX (3706)2854
■代田ボランティアビューロー　〒155－0033 代田2－20－6　TEL (3419)4545 FAX (3412)3210
■玉川ボランティアビューロー　〒158－0094 玉川2－1－15　TEL (3707)3528 FAX (3708)3058

●いのちを大切にするところ「ふらっと」&「with」です●

■ケアセンター「ふらっと」　〒154－0002 下馬2－20－14　TEL (5712)5105 FAX (3410)3813
■ケアセンター「ｗｉｔｈ」　〒154－0002 下馬3－22－13丸伝ビルNV 1F　TEL (6805)4715 FAX (6805)4718

●くらしを紡ぎ、わかちあう「結」と「連」●

■ケア相談センター結(ゆい)　〒154－0002 下馬3－22－13丸伝ビルNV 2F　TEL (5433)2830 FAX (6383)2156
■ケアステーション連(れん)　〒154－0002 下馬3－22－13丸伝ビルNV 2F　TEL (6805)4716 FAX (6805)4718

●障がいにともなう「困った！」を話せるところ●

■世田谷地域障害者相談支援センター　〒154－0002 下馬3－22－13丸伝ビルNV 2F　TEL (6804)0405

●でんわだから、はなせるネ！ 18さいまでのこどもせんようでんわ●

■せたがやチャイルドライン　こどもせんようでんわ　TEL (3412)4747　0120-99-7777(フリーダイヤル)
＊事務局は世田谷ボランティアセンターにあります

拠点は今… 今月のおススメ！

◆センター&ビューローより

年明けはボランティア活動希望の相談が増えました。新年は「何か始めよう」という気持ちになりますね。
２月 20 日～ 21 日「玉川ビューローバザー」、22 日ボラセン「リサイクル市」にもお越しください！

◆ふらっと& with より

寒さの厳しい新年でしたが、街を歩くと少しずつ春は訪れているようです。まだまだ寒さは厳しいですが、春の訪れを楽しみに地域へと出かけていきたいと思います。

◆結・連より

介助を必要としている人がいます！世田谷を走り回っています。ヘルパー募集継続中です！

◆チャイルドラインより

受験シーズンに突入しました。子どもが壁にぶつかったとき、つらくなったとき、チャイルドラインを思い出してくれるといいな。今日も電話の前には、子どもの気持ちに寄り添う大人がいます。

編集後記

■近頃、認知症のご本人が書いた本が何冊も出版され、「注文をまちがえる料理店」を記録した本も出版されたそうです。認知症に対して、少しずつ関心が高まってきています。まずは正しく知ることからはじめ、世田谷でも理解が深まればと思います。
■小５の息子は一年中、半袖生活です。学校に１人はいた（？）絶滅危惧種。２月も８月も同じ服、見ている方が寒い。悩みは冬に半袖が売っていないこと。子どもは風の子。（み）

●発行
社会福祉法人
世田谷ボランティア協会
〒154－0002
世田谷区下馬2－20－14
TEL 03･5712･5101
FAX 03･3410･3811
●E-MAIL
setabora@otagaisama.or.jp
●ホームページ
http://www.otagaisama.or.jp/
●発行人
横山　康博